

野田市 自治会連合会だより



第44号

- ◆会長挨拶 / 副会長・会計・監事の紹介 / 事業担当者一覧 … P2
- ◆令和7年度総会 ……………… P3
- ◆【特集1】新任自治会長研修会 ……………… P4・P5
- ◆【特集2】理事視察研修 ……………… P6
- ◆【特集3】自治会活動発表会 ……………… P7・P8
- ◆地区自治会連合会の活動紹介～福田地区自治会連合会～ …… P9
- ◆お知らせ・編集後記 ……………… P10



自治会活動発表会の様子



ハッ場ダムの雄姿～理事視察研修～

令和8年1月30日発行
発行者 野田市自治会連合会
会長 五味 良仁

会長挨拶

～『自治会連合会だより』第44号の発行によせて～

野田市自治会連合会 会長 五味 良仁
〔上花輪・太子堂地区：上花輪新町8の3自治会会长〕

皆様、こんにちは。お元気で自治会活動にご活躍のことと
思います。『自治会連合会だより』第44号の発行によせて、
今年度の催しを振り返ってみたいと思います。

6月22日(日)、市防犯組合総会終了後、連合会総会を開催しました。防犯組合総会に引き続き連合会の総会を開くのは今回が初めてでした。賛否両論のご意見をいただきました。

7月5日(土)には新任自治会長研修を実施させていただきました。少しでも新任自治会長の皆様のお力になればとの思いで開催しましたが、いかがだったでしょうか。

11月20日(木)・21日(金)には1泊2日にて理事視察研修を実施し、野田市の治水にも関係が深い渡良瀬遊水地やハッ場ダムを見学してまいりました。

11月29日(土)の自治会活動発表会は、今回は講演会の形で常総市の根新田町内会事務局長須賀英雄様に、防災まちづくりの体験談をお話しいただきました。これは、昨年度の自治会長一日研修で常総市の根新田町内会へ出向き須賀様のお話を聞いて、ぜひ多くの自治会長の皆様に紹介したいとの思いで、ご縁をいただいた催しでした。

この後、2月には2回に分けて実施する自治会長一日研修が控えています。いずれの催しも常任理事さんが分担し、担当者で打ち合わせて段取りをつけ、理事会で承認をいただき行っています。この場をお借りして、自治会長の皆様のご理解ご協力をお願いとともに、担当者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

自治会は、地域住民が協力して地域の安心安全な暮らしを支えるための任意団体です。防犯防災活動を通じた安全確保、地域情報の共有、住民同士の交流促進、地域問題を解決しながらお互いに支え合い、豊かな住みやすい地域社会を作ることが目的です。また、行政との連携による生活環境の維持向上も図っています。全国的に自治会離れが問題になっていますが、私たちができるることを根気よく取り組んでいくことが大切だと思います。皆様、ともに頑張りましょう。

◆副会長・会計・監事の紹介◆

役職	氏名	所属地区	所属自治会
副会長	鷺尾 真由美	新木間ヶ瀬	羽貫3
	渡邊 建樹	3ヶ町	仲町第3
	川村 春樹	木間ヶ瀬	志部前堀
会計	※会長指名の副会長 鷺尾 真由美	新木間ヶ瀬	羽貫3
	小倉 幸雄	七光台	七光台第3
監事	豊田 和彦	福田	鹿野
	平野 邦雄	中央東	柳沢第4

◆令和7年度連合会事業担当者一覧◆

〔常任理事で分担し取り組んでいます ○:リーダー〕

新任自治会長研修	連合会だより	自治会活動発表会	理事視察研修	自治会長一日研修
○川村 春樹 青木 邦夫 本田 正則 山中 一則	○鷺尾 真由美 鈴木 勇 福田 正 渡辺 純一	○清水 拓司 石原 義雄 鈴木 剛 羽富 倖之 渡邊 建樹	○小倉 幸雄 石田 定行 駒崎 文男 五味 良仁	○五味 良仁 河井 哲弥 萩原 和敏 秦野 敏雄

※今年度限定事業として「自治会に入会しましょうパンフレット」と「自治会ガイドブック」の2つは正副会長が担当者



令和7年度総会が開催されました

◆ 令和7年6月22日(日)午後3時から市役所8階大会議室に於いて、令和7年度野田市自治会連合会総会が開催されました。例年は、市主催の自治会長会議終了後、自治会連合会総会を行っていましたが、今回初めて、午後1時30分からの市防犯組合総会が終わった後、休憩をはさみ自治会連合会総会という運びになりました。出席者149名、委任状提出者86名、合計235名での総会となり、提出された議案は、活発な質疑応答の後すべて承認されました。

この開催方法ですが、今まで、各地区の防犯支部長と各自治会長が参加対象である市防犯組合総会が5月末に開かれ、その後6月中旬に、市主催の自治会長会議と自治会連合会総会を同日に行うというのが通例でした。この別々に開催されている二つの総会を、自治会長の皆様の負担軽減のため、この日連続で開催したものです。ちなみに、市主催の自治会長会議はありませんでした。

この総会の段取りには賛否両論をいただきました。来年度に向けて、問題点を整理し皆様にとってより良い方法を検討していきたいと思います。常任理事を務められている小倉幸雄様から総会の感想をお寄せいただきましたので、ご紹介させていただきます。

令和7年度総会に出席して感じたこと

七光台地区自治会連合会 常任理事 小倉 幸雄
[七光台第3自治会会長]

今年度の市防犯組合総会と自治会連合会総会が同日開催になることについて、5月20日の常任理事会および理事会にて説明がありましたので、承知していました。また当日、自治会連合会総会にて五味会長より挨拶があり、この二つの総会について、両方に関係する自治会長が多数おられるので、同日に連続して行った旨の話を聞きました。しかし、実際に開催してみると、防犯支部長には自治会長でない方も多くおられ、多少問題があったと感じました。

①この日、市役所隣接の文化会館で催しがあり、その影響で市役所の駐車場が混み合っていて駐車するのに何十分もかかるてしまい、我が七光台地区的会長さんにも帰られた方がいました。

②会議時間の問題もありました。防犯組合総会開始が13時30分、自治会連合会総会終了が16時を回っていました。3時間もの会議は長いと感じました。特に高齢の方にはきついと思います。今後は例年のように別々の日に開催する方が良いと思いました。

③長年自治会長を務められ退任された方の表彰があり、代表して挨拶された中野台第9自治会高安正義様の謝辞には感動しました。自治会の皆様のために、安心安全な住み良い街づくりへ使命をもって取り組んだ思いがひしひしと伝わりました。



挨拶する五味会長

特集1

◆ 今年度の事業として、最初に行われた新任自治会長研修会の様子を特集でお届けします。研修会は2部構成で実施され、第1部は全体会、第2部はブロックごとの情報交換会となっています。研修会終了後、参加した新任自治会長にアンケートへの回答をお願いしています。アンケートの集計はこの事業担当者のリーダー、川村春樹副会長にお世話になりました。今回は、その集計結果を詳しくご紹介します。

新任自治会長研修会

～アンケートから見えてくる新任自治会長の戸惑い～

令和7年7月5日(土)午後2時から市役所8階大会議室に於いて、新任自治会長研修会が開催されました。暑い日でしたが、新任自治会長56名の参加がありました。正副会長と常任理事は午後1時に集合し、会場設営や打ち合わせを行いました。どの方も、新任自治会長の不安を少しでも減らすことができれば幸いとの思いで手伝いました。

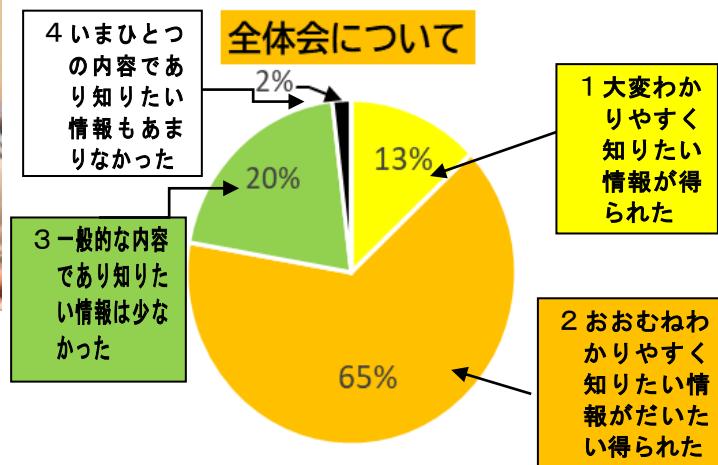
全体会

第1部の全体会では、最初に五味会長の挨拶があり、その後パワーポイントを使用して、野田市の自治会組織の構成、野田市自治会連合会、地区自治会連合会、自治会それぞれの役割と連携についての説明が行われました。また、全国的に自治会加入率の低下傾向が見受けられ、自治会長を悩ませる要因になっている状況がありますが、地域環境を良くしていくには、市と自治会が相互理解を図り、安心安全で住み良い市にするため協働することが重要であることも説明がありました。その橋渡し役や調整役としても自治会連合会や地区自治会連合会があると言えるでしょう。



全体会の様子

参加した皆さんは熱心に聞いていました。この全体会についてのアンケート結果は次のようになっています。



アンケート結果を見ると、“大変わかりやすく知りたい情報が得られた” “おおむねわかりやすく知りたい情報がだいたい得られた”を合わせて78%となっています。とりあえず、新任自治会長の方々のニーズに応えられたとは思いますが、“知りたい情報は少なかった” “知りたい情報もあまりなかった”が22%あることが今後の課題だと思います。

情報交換会

全体会終了後、A・B・C のブロックごとに分かれて3会場にて情報交換会を実施しました。今年度はこの情報交換会により多くの時間を取りました。全体会ではなかなか質問できないこと、小さな問題であっても困っていることなどを出しやすいように、だいたい同じ地域でブロック分けし気楽に話ができるよう配慮しました。会場が限られていたため、A ブロックはそのまま大会議室で行い、B・C ブロックは別会場へ移動していただき、正副会長や常任理事がそれぞれフォローに入りました。



A ブロック 大会議室にて

情報交換会でのブロック分け		
	地区自治会連合会	場所
A ブロック	3ヶ町 上花輪・太子堂 中野台・堤台 清水 南部第1 南部第2 北部 西部 七光台 川間	大会議室
B ブロック	中央東 東部 福田	706 会議室
C ブロック	関宿 二川 木間ヶ瀬	203 会議室

(新木間ヶ瀬地区には新任自治会長はいない)



B ブロック 706会議室にて



C ブロック 203会議室にて

各ブロックでは活発な意見交換が行われました。コロナ後の祭りのやり方、自治会長や役員の決め方、自治会長や役員を引き受ける人がいない、自治会に入らない世帯が増えていること、ごみ集積所の問題、外国人への対応など、日ごろ困っていることや将来の自治会の在り方などについて真剣な話し合いが見受けられました。自治会はそれぞれ世帯数、年齢層、今までの取り組み方などが違うため、ある自治会でうまくいっている方法が、必ずしも自分の自治会でうまくいくとは限りませんが、他の人の意見を聞いて、今までと違った角度から対応を考え、試してみることで開かれる道もあります。情報交換会の役割はここにあります。右下の円グラフは情報交換会についてのアンケート結果です。

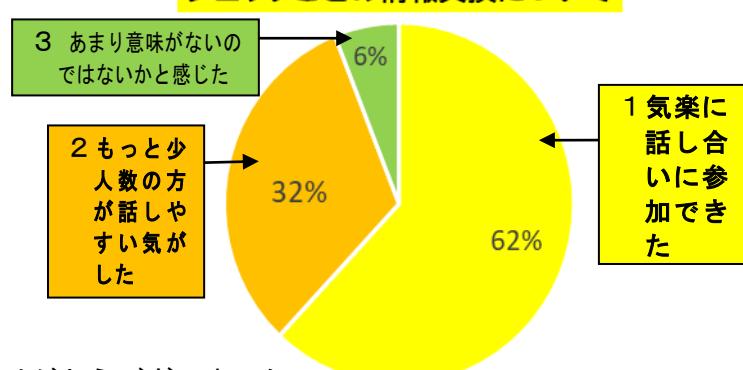
気楽に参加できたという人が6割以上ですが、もっと少人数の方が話しやすいという人も3割以上いました。会場確保の関係もあり難しい面がありますが、検討したいと思います。

アンケートではもう一つ、〈もっと詳しく知りたかったこと〉の質問があり、こちらは複数回答可の項目でしたが、自治会の運営のしかた、自治会が申請すればもらえる補助金について、自治会長の役割、自治会組織や連合会との関わり

が上位でした。新任自治会長の皆さん、ご協力ありがとうございました。

回答率は98%でした。

ブロックごとの情報交換について



特集2

◆ 今年度の理事視察研修は、1泊2日の日程で渡良瀬遊水地とハッ場ダムを見学してきました。どちらも、構想から完成まで長い年月がかかり、自然との戦いや大勢の人の尽力を得て現在に至り、関東地方の治水に大きな役割を果たしています。野田市もその恩恵を受けていることを思うと、大変意義深い研修でした。市バスを借りて実施し、参加者は14名でした。

自治会連合会 理事視察研修について

南部第1地区自治会連合会 常任理事 山中 一則
〔花井第1自治会会长〕

令和7年11月20日(木)・21日(金)の両日、群馬県草津方面に五味会長以下14名で理事視察研修に出かけました。1日目は野田市役所を定刻通りに出発、関宿中央公民館にて関宿方面の参加者が乗車し、10時に最初の目的地「渡良瀬遊水地」に到着。この遊水地は茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県の4県にまたがる平地型のダムです。明治43年に遊水地化事業に着手、大正11年に完成しましたが、その後も洪水が頻発したため、昭和38年にもっと効果的に洪水を調節できるよう調節池事業を始め、昭和48年に概成、そして洪水だけではなく逼迫する首都圏への水需要に対応するため、昭和51年に貯水池化事業に取り組み平成2年に概成したという長い歴史をもつ遊水地です。面積は約33km²、周囲約30km、貯水容量約1億7千万m³という壮大な遊水地でした。また、自然環境保全、害虫駆除、野火防止のためのヨシ焼きを行い、樹林化を防ぎ治水容量を確保していることでも有名です。この日は、太田市で昼食を取り、草津にて1泊しました。

2日目は宿を出発し、長野原町にある「ハッ場ダム」に向かいました。このダムは昭和27年に計画が発表されましたが、周辺支流の水質などの問題があり計画ははかどらず、その後の水質改善を受けて昭和42年に現在地点に建設が決定。紆余曲折を経て令和元年に試験湛水開始、令和2年4月1日運用開始となりました。

計画の凍結や中止、水没地域の反対運動、度々の工期延長などの試練を乗り越え、実に計画発表から完成まで68年もの年月を要したハッ場ダムは、利根川の



遊水地を一望できるウォッティングタワーにて

支流吾妻川中流部の重力式コンクリートダムで、防災操作、流水の正常な機能の維持、都市用水の供給、発電を目的としたダムです。ボランティアガイドの方の説明を受けながら、このダムが歩んできた長い苦難の道を思いました。

この2日間の視察研修で、「渡良瀬遊水地」や「ハッ場ダム」が野田市や首都圏の治水の要になっていることを、改めて認識した次第です。参加した皆さん、お疲れ様でした。また、この研修を企画された事業担当者の皆さん、本当にありがとうございました。



ハッ場ダムにて

特集3

◆ 11月29日(土)午後2時30分から市役所8階大会議室にて開催された自治会活動発表会は、今回は常総市の根新田町内会の事務局長であり、防災士でもある須賀英雄様においていただき、『地域コミュニティが命を救う “災害被害者ゼロを目指した防災まちづくり』のテーマで講演をしていただきました。野田市自治会連合会が昨年度の事業として令和7年2月に実施した自治会長一日研修で根新田町内会へ出向き、防災への取り組みについて大変参考になる須賀様のお話を聞いて、ぜひ野田市へおいでいただきたいとお願いし実現した講演会です。

常総市は10年前の「関東・東北豪雨災害」で鬼怒川の堤防が決壊しました。須賀様の根新田地区も90%が床上浸水という大きな被害を受けました。報道されたそのときの情景が脳裏に焼き付いている方もいると思います。須賀様は、この経験を今後の防災への取り組みに生かすべく取り組んでいます。特に地域コミュニティの視点から様々な方策を考え実行して、その防災活動を広く公開し、各自治会の防災力向上に役立つことを願っています。

根新田町内会の防災活動はマスコミにも大きく取り上げられ、全国から講演や研修会の依頼が殺到し、今後の予定も含めて200講演を超えていたことです。今では有名な“マイ・タイムライン”も、その重要性を認識した根新田町内会が、国や常総市などと協力して地域に根付かせ、全国の自主防災会の取り組みの一つとして模範になっていました。この日の参加者は、自治会長、自治会役員、会員の方など94名でした。ご観覧いただいた4名の方に感想をうかがいました。

自治会活動発表会

～根新田町内会の取り組み 《災害被害者ゼロを目指して》～



講演する須賀英雄様

非常に役立つことばかりで、我が自治会では見習うことばかりです。まず①近所同士の助け合いが必要 ②マイ・タイムラインの設定 ③女性と若い人を防災に ④無事ですタオルの活用 ⑤要支援者の見守り避難などは、住民の適切な防災行動を促すために重要なので、これらの方策を参考にして早急に活かしていきたいと思いました。

最後に、住民一人一人に防災への関心を持たせ、いざというとき行動できるように導くことのできる強い指導者を育てる必要があると思いました。 東大崎自治会 副会長 三好 清矢

〔南部第2地区自治会連合会〕

近年、野田市で考えられる主な災害として挙げられるのは、地震、洪水、台風、豪雨、富士山噴火などがあります。なかでも、地震の予測はできませんが、洪水や台風はあらかじめ天気予報などで予測ができます。特に、最近は線状降水帯などの発生により、短時間で狭い範囲に数十ミリの雨が降るゲリラ豪雨(局地的大雨)が増加する傾向にあり、注意が必要です。

今回の須賀氏の講演は、単なる「報告」や「振り返り」ではなく、住民目線での実際のデータや住民間のネットワーク、特にITを活用した自主防災のモデルとして、非常に示唆的であり、我々にとって「自分の地域で何ができるか」という希望と覚悟を与えるものだったと考えます。2015年の関東・東北豪雨災害で、常総市根新田地区が鬼怒川の堤防決壊という甚大な被害を受けた中で、実際に「SMS一斉送信システム」で地域住民に避難情報を伝え、垂直避難や近所を回って避難の呼びかけを行った貴重な経験談を聞かせていただきました。自らの自宅も床上浸水した経験も踏まえて、まさに被害者の目線での講演にリアリティを感じました。根新田町内会は災害時の連絡手段として「SMS一斉送信システム」を導入しており、これが実際の水害時に機能したとのことで、ぜひ我々の地域でも取り入れたい手法です。また、避難行動をあらかじめ整理しておくマイ・タイムラインの作成ももっと充実させていきたいと感じました。一方で、参加していた自治会の皆さんの中でマイ・タイムラインを知らない方が多かったことに驚きと不安を感じました。

須賀氏の講演を通じて「災害時は行政任せではなく地域コミュニティや近隣同士の“共助”が命を分ける」という実践に基づいたメッセージが伝わり、改めて、防災は他人事ではなく自分の事として考えさせられるきっかけになりました。災害直後の混乱と恐怖を経験した人が「次の災害でまた誰かが被災しないために」という責任と使命感を持って語ることには、大きな説得力と重みを感じました。

仲町第3自治会 理事(防災部責任者) 中村 卓史 〔3ヶ町地区自治会連合会〕

自治会活動発表会 ～根新田町内会の取り組み 《災害被害者ゼロを目指して》～

11月29日(土)、自治会活動発表会が市役所8階大会議室で開催されました。年末の多忙な時期ではありました、94名の参加者があり、関心の高さがうかがえる発表会でした。受付は14時からでしたが、その前から来場された方も多数いました。今回は、常総市根新田町内会事務局長の須賀英雄様の防災活動全般にわたる講演でした。

2015年9月の関東・東北豪雨災害は、鬼怒川の堤防が決壊したこと、根新田町内会に深刻な被害をもたらしました。90%の家屋が床上浸水、残りの家屋も床下浸水、水が引くまで5日を要しました。須賀様の自宅前の道路は1.7m冠水したそうです。自然の脅威の前に人は為す術もなく、押し寄せる濁流にただ逃げるのみだったそうです。現在は、このような惨事を二度と繰り返さないため、自然災害に備えて様々な対策を講じています。

SMS一斉送信の活用、マイ・タイムラインの作成指導、カメラ・太陽光蓄電、ドローンなどの機材の活用、「無事ですタオル」の配布などを行い、普段からの自助、共助の助け合いの推奨、防災士の育成などにも力を入れています。また、最悪事態を想定した地区防災計画に沿って、災害時犠牲者ゼロの取り組みを行っています。

昨年度の2月に自治会長一日研修で根新田町内会を訪問し、根新田会館で須賀様から防災対策の話を聞いていただいたのですが、その時は今回よりも詳しい説明を受けたと思います。その際に防災士の重要性についてもお話をされました。

根新田町内会は約100世帯ですが、7名の防災士が活躍しています。それを聞いて愕然としました。私のところは160世帯ありますが、防災士の資格がある人は皆無です。その時、瞬時に防災士の必要性を痛感しました。その後5月の自治会連合会の理事会で、市の担当者から、今年度10月に市役所で防災士資格取得に向けた養成研修および試験を予定している旨の説明があり、すぐにその件の詳しい案内文書が送られてきました。市が資格取得費用を全額助成すること、町内理事会で防災士の役割について討議したことがあるなどから、すぐ町内理事全員に話をし、研修への参加と防災士の資格取得を促した次第です。

私自身は当初から決めていましたので、早めに申し込みを済ませました。8月下旬に防災士研修センターから教材が送られてきました。予想より厚い教本等で不安になりましたが、すでに賽は投げられています。躊躇せずすぐに準備に取り掛かりました。

研修および試験日は10月4日(土)・5日(日)の週末。ちょうどこの時期に地区の会議が重なり、その他に防災訓練、運動会、文化祭の準備などもありました。また、国勢調査もありました。このため、私の町内会からは当初6名が参加を希望していましたが、実際に試験を受けたのは3名でした。そして全員が合格し、3名の防災士を誕生させることができました。防災士の必要性を鑑み、今後も役員に資格取得にチャレンジするよう働きかけを続けていきます。

貴重な講演を聞かせていただきましたので、今後防災に強い安心安全な街になるよう努めてまいります。年末のお忙しい中、お越しいただいた須賀様に感謝申し上げます。

上花輪・太子堂地区自治会連合会 常任理事 鈴木 勇
〔太子堂第1自治会会長〕



令和7年2月に自治会長一日研修で根新田町内会を訪問し講演を聞かせてもらっていますが、再度お話を聞き、規模の大小(根新田町内会は100世帯、私の野田梅郷自治会は1,420世帯)はともかく、自治会の運営に携わる一人として、防災の事前対策の重要性を改めて認識した次第です。

市役所危機管理部が企画した防災士の資格取得を目指す研修会の開催案内があったので、女性防災士も活動されているということでもあり、自治会員に参加を勧めたところ、私を含め7名がチャレンジし、全員が資格を取得することができました。女性防災士1名誕生。強い味方がそろったことで、自治会の防災対策が前に一步進められると捉えています。

昨今のゲリラ豪雨、線状降水帯、首都直下型地震、富士山噴火予測などが報じられていますが、我々の生活圏を脅かす水害や地震の災害はほとんどが突然発生します。事前対策を立てながら、慌てず落ち着いて自分や家族を守る「自助」、ご近所さんへの支援や安否確認に繋げる「共助」の初期活動にいかに取り組んでいったらよいのかと考えます。高齢化が進む中ですので、手助けを必要とされる方々への支援は、みんなで考えておくべきだと思います。

今回の講演には自治会から女性会員が2名参加してくれました。ありがとうございました。女性の視点での気づきもたくさんあると考えます。いざという時には大きな力となります。お二人とも具体的な話を直接聞くことができて、考え方や捉え方広がったとおっしゃっていました。その力強い言葉を聞き感謝に堪えません。

福田地区自治会連合会 理事 上西 唯夫
〔野田梅郷自治会会長〕

地区自治会連合会の活動紹介

野田市自治会連合会は17の地区自治会連合会で組織されています。

今回は福田地区自治会連合会の活動を紹介します。

◆福田地区自治会連合会◆

福田地区自治会連合会加入自治会（18団体）

上三ヶ尾自治会 下三ヶ尾自治会 西三ヶ尾自治会 ニッ塚自治会 瀬戸自治会 三ッ堀自治会
保木間自治会 灰毛自治会 本郷第1自治会 本郷2自治会 新町自治会 下町自治会 高根自治会
鹿野自治会 白鷺梅郷住宅自治会 野田梅郷自治会 わかくさ台自治会 すばる自治会

緑と水と人に恵まれた福田

福田地区自治会連合会 会長 青木 邦夫

〔常任理事：下町自治会会长〕

福田地区は、東に大河川の利根川、南に利根運河があり、さらに大正時代に行われた利根川の河川改修で対岸には柳耕地と呼ばれる区域がある、市の南東部に位置しています。緑と水に恵まれたこの地区は、総面積が約17.9km²にもおよび、野田市パブリックゴルフ場をはじめとして3つの民間ゴルフ場があり、さらにスポーツ公園やサイクリングロード、運動場、体育館などでは『健康スポーツ文化都市』にふさわしく、さわやかな汗を流す姿が見られます。

福田地区自治会連合会は、18自治会、3,273世帯（令和7年6月1日現在）で構成されており、市内でも大きな組織のうちの一つ（5番目）になります。連合会では、発足当時からしばらくは役員会を定期的に開催していましたが、現在は、毎月月末の日曜日の午前中に福田公民館で、全自治会が出席する全体会議を開催しています。福田地区は、他の地区と同様に自治会長の任期は1～2年で、令和7年度も半数が交代しています。毎月の定例会議はお互いの顔合わせの場にもなっています。

福田地区では地区の融和や親睦などを図るため、長年にわたって2年に1度の体育祭を盛大に開催していましたが、選手の確保が困難な自治会も出始めたことからアンケートを実施し、その結果、体育祭の代替として『福田まつり』を平成25年から実施しています。しかしながら、コロナ禍や福田体育館の改修などもあってまつりを見送らざるを得ない状況が続き、コロナの扱いが感染症法

上の5類にはなったものの、海外での新型変異株の流行やインバウンド（訪日外国人）の増加、さらには、実行委員会に携わったメンバーも少なくなり、今年度は開催を見合わせることになりました。

現在、福田地区には、3つある小学校と1校だけの中学校を統合して、令和10年度に義務教育学校として開校する話があります。開校の年に向けてふさわしいまつりをしたいと、地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、体育協会、学校、青少年相談員などの関係団体と実行委員会を立ち上げて、今後検討していく予定です。また、連合会では会長が地区社協の副会長の他、会計、監事、評議員になり活動を支えています。11月3日には地区社協恒例のバザーが福田公民館芝生広場で開催され、連合会も米、野菜、雑貨などの売り場を担当しました。猛暑や少雨で価格は高止まりでしたが、米や野菜は特に人気の的で、担当したメンバーは少ない人数で奮闘し、時間が経つのを忘れる程でした。



連合会もお手伝い 地区社協バザー

ご利用ください

◆研修用 DVD 等を貸し出しています◆

野田市自治会連合会では、自治会活動に役立てていただくために、研修用 DVD や機材等の貸し出しを行っています。自治会や地区連合会等でぜひご活用ください。

1. 貸し出し対象団体

* 各地区自治会連合会 * 自治会連合会加入自治会 * 左記団体の関連団体

2. 貸し出しだけの物や条件について

* プロジェクター * スクリーン
* マイク付きアンプセット * DVD (7種類・下記参照)

	DVD タイトル	分類	概要
1	「被災地からのメッセージ」 ～命をつなぐ絆の力～	防災	近年の大きな災害で被災した人々へのインタビューを収録。その時生死を分けたものとは? 実体験に基づく話から防災を学ぶ。
2	「地域で減災!」 ～あなたが力 みんなが力～	防災	自然現象は防げないが被害は減らせる。これが「減災」。減災の基盤となる自助・共助や地域被災への関心を呼び起こす。
3	「もし今、地震が起きたら」 ～命を守る備えと退避行動～	防災	未曾有の大災害となった東日本大震災の経験も踏まえ、地震時の心得、緊急地震速報の行動への活かし方、地震への備えを考える。
4	「深刻化する気象災害」 ～どう身を守る? どう備える?～	防災	それぞれの気象災害がなぜ発生するのか、実験やCGで解説。これらの災害から身を守るにはどうすれば良いかについても解説。
5	「相次ぐ高齢者住宅火災」 ～身近に潜む火災の危険～	防災	全国の住宅火災で亡くなる方のおよそ6割が高齢者である実情から高齢者が火災で命を落とさないための心がけについて考える。
6	「急増! 高齢者をねらう特殊詐欺・悪質商法」 ～訪問購入・点検商法・投資詐欺～	消費生活	近年増加している高齢者を狙った悪徳詐欺について、被害状況などを紹介。高齢者に多いトラブル事例や手口についても解説。
7	「あぶないめにあったときは?」 ～自分を守れる力を身につけよう～	防犯	【子ども向け】近年多発している連れ去り等の事件について、犯罪の危険がある場面を取り上げクイズ形式で子どもに問いかける。

※ご希望の物を無料で貸し出します。市役所 市民生活課内 野田市自治会連合会事務局まで取りに来ていただき、使用後は、同場所まで返却することが可能であることが条件です。万一貸し出した物を破損してしまったなどの場合は、修理代などを負担していただくことがあります。

3. 申し込み方法

* 貸し出しを希望される場合は、自治会長さんが、団体名、希望する物、使用希望日時を明確にして、野田市自治会連合会事務局に電話等で申し込んでください。
先着順となります。詳細についてのご相談もどうぞ!

◆野田市自治会連合会事務局（市民生活課内）
TEL 04-7123-1083

FAX 04-7123-1737

編集後記

今号は盛りだくさんの内容で、読んでもらえるか心配です。特に防災をテーマに講演された須賀英雄様への反響が大きく、熱い感想をお寄せいただきました。ご多忙の中、寄稿いただいたすべての皆様に感謝申し上げます。書かれた方の気持ちが伝わるよう一杯努めさせていただきました。寒い日々が続きますがお体大切にお過ごしください。

担当者 鶯尾真由美 鈴木 勇

福田 正 渡辺 純一